

【週刊タバコの正体】

Vol.36 第1話～第3話

2017/01 和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 36

(No. 493) 第1話 積み重ね

－タバコをめぐる時代－将来もまだまだ変わっていく...

新しい年を迎え、2017年(平成29年)が始まりました。君たちも一つ歳を積み重ねたので、きっと成長できているはずですが、いかがでしょうか。1年は365日もあるのですが過ぎてしまえば短く感じ、たった1年で何かが大きく変わる事も少ないですから自分では実感できないかもしれませんね。

自分自身の事に限らず身の回りの状況は1年や2年で大きく変わる事は少ないのですが、毎年の積み重ねで10年20年と年月がたてば明らかに違いがわかる事はよくあります。じつは、タバコに対する価値観の変化もその一つです。21世紀生まれの君たちが見ている今の『タバコ』と、20世紀の終盤に育った世代の大人たちが見てきた『タバコ』の違いを少し紹介しましょう。

(No. 494) 第2話 タバコの火災

－喫煙率は減少しているのにタバコによる火災は変わらず...

昨年末、新潟県糸魚川市で発生した火事は、120棟もの家屋が全焼するほどの大規模火災となりました。このニュースは記憶に新しいところですが、いったい全国で火事はどのくらい発生しているのでしょうか。総務省消防庁が発表した平成28年度消防白書によると、平成27年度に発生した火災は39,111件だったそうです。1日当たり107件の火災があったこととなります。そして下図は出火原因別に示したのですが、一番多いのが残念なことに「放火」で、じつは2番目が「タバコ」なのです。

タバコによる火事は3,638件もあり全体の約10%を占めるほど多く発生しています。さらに左のグラフを見てください。住宅火災のうちタバコが原因の火災で亡くなった人もかなり多いのです。

(No. 495) 第3話 COPDの自覚症状

－COPDの潜在的な患者はかなり多い...

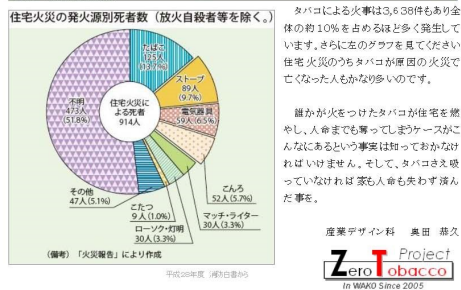
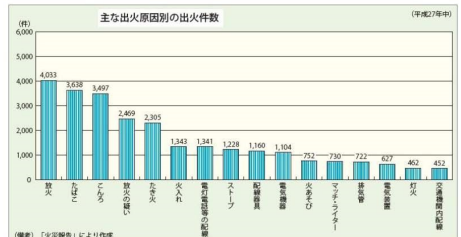
タバコを吸うと、肺に有毒な煙が直接送り込まれます。そのため長年タバコを吸い続けた喫煙者の肺は相当ダメージを受けるので肺がんになる確率が高いのですが、それだけではありません。慢性まんせい閉塞性へいそくせい肺はい疾患しかん(COPD)という病気にもかかります。下図にあるように、気管支や肺胞に炎症が起きる病気です。

この病気になると、せきやたんが増えて運動したときに息切れをするようになります。このような自覚症状が出始めると、COPDが中等症まで進行しているそうです。そして、さらに進行すると呼吸困難や日常生活が困難にまでなるそうですが、発病の最大の原因は喫煙なのです。

こんな病気の事を知らずに吸い始めてしまうと、息苦しさを感ずるようになってからもタバコのせいでCOPDになっている事に気付いていない人は大勢いるのだそうです。皆さんは吸い始めないでしようが、身近にそんな症状の人がいれば診察してもらおうよう声をかけてみてください。

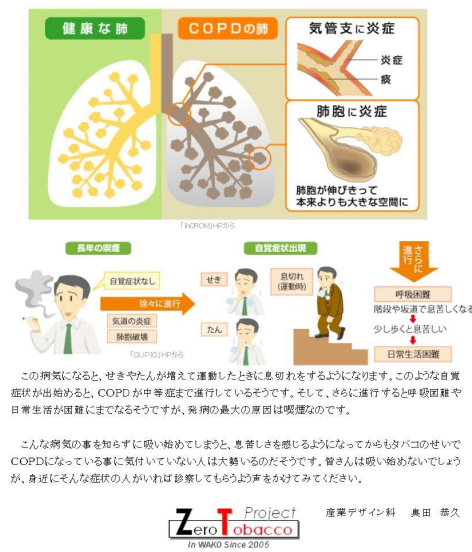
volume 36 第2話 週刊 タバコの正体

昨年末、新潟県糸魚川市で発生した火事は、120棟もの家屋が全焼するほどの大規模火災となりました。このニュースは記憶に新しいところですが、いったい全国で火事はどのくらい発生しているのでしょうか。総務省消防庁が発表した平成28年度消防白書によると、平成27年度に発生した火災は39,111件だったそうです。1日当たり107件の火災があったこととなります。そして下図は出火原因別に示したのですが、一番多いのが残念なことに「放火」で、じつは2番目が「タバコ」なのです。



volume 36 第3話 週刊 タバコの正体

タバコを吸くと、肺に有毒な煙が直接送り込まれます。そのため長年タバコを吸い続けた喫煙者の肺は相当ダメージを受けるので肺がんになる確率が高いのですが、それだけではありません。慢性まんせい閉塞性へいそくせい肺はい疾患しかん(COPD)という病気にもかかります。下図にあるように、気管支や肺胞に炎症が起きる病気です。



毎週火曜日発行



URL: http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
 ※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
 ※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

